

5. 花き類

(1) きく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ゴーゴーサン乳剤	全面土壤散布	定植前（雑草発生前）	1回(ペソディメリン1回)	
トレファノサイド乳剤	畦間土壤散布	定植後	1回(トリフルラリン1回)	きく（露地栽培）

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類 及び 10a 当り 使用量	使 用 法	注 意 事 項
定植前 (雑草発生 前) 全面土壤散布	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤 (ペソディメリン 30%) 200～400ml	1. 水 70～150l に溶かし、均一に散布する。	1. 適湿状態で散布する。 2. キク科及びツユクサに 対して効果が劣る。
定植後 畦間土壤散布	一年生雑草 (ツユクサ科、 カヤツリグサ 科、キク科、 アブラナ科を 除く)	トレファノサイド 乳剤 (トリフルラリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100l に溶 かして均一に 散布する。	1. 生育が軟弱な場合は使 用を避ける。

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
アグロマック ス水和剤	一年生雑草(キク 科、カヤツリグサ科を 除く)	全面土壤散 布	定植後雑草 発生前	200～ 400g/10a	1回(フタミ ズ 1回)	I	
クレマート乳 剤	一年生雑草	全面土壤散 布	定植後(雜 草発生前)	200～400 ml/10a	1回(フタミ ズ 1回)	I	きく(ホ ットマム)
クレマートU 粒剤	一年生雑草	全面土壤散 布	定植後(雜 草発生前)	4～6kg/10a	1回(フタミ ズ 1回)	I	
ナブ乳剤	一年生仔科雑草 (ズズメノカビゴナを除 く)	雑草茎葉散 布又は全面 散布	雑草生育期 (仔科雑草 3 ～5葉期)	150～200 ml/10a	3回以内(セ トキシム 3回 以内)	II	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

(2) ゆり

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壤散布	植付後～萌芽前	1回(トリフルラリン1回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類 及び 10a 当り 使用量	使 用 法	注 意 事 項
植付後～萌芽前 全面土壤散布	一年生雑草 (ツユクサ 科、カヤツリ グサ科、キク 科、アブラナ 科を除く)	トレファノサイ ド乳剤 (トリフルラリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶か して均一に散布 する。	

(3) しゃくやく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壤散布	植付後～萌芽前	1回(トリフルラリン1回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類 及び 10a 当り 使用量	使 用 法	注 意 事 項
植付後～萌芽前 全面土壤散布	一年生雑草 (ツユクサ 科、カヤツリ グサ科、キク 科、アブラナ 科を除く)	トレファノサイ ド乳剤 (トリフルラリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶か して均一に散布 する。	

(4) グラジオラス

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
クレマート乳剤	一年生雑草	全面土壤散布	植付後（雑草発生前）	200～400 ml/10a	1回（ ^{フタミ} 1回）	I	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。